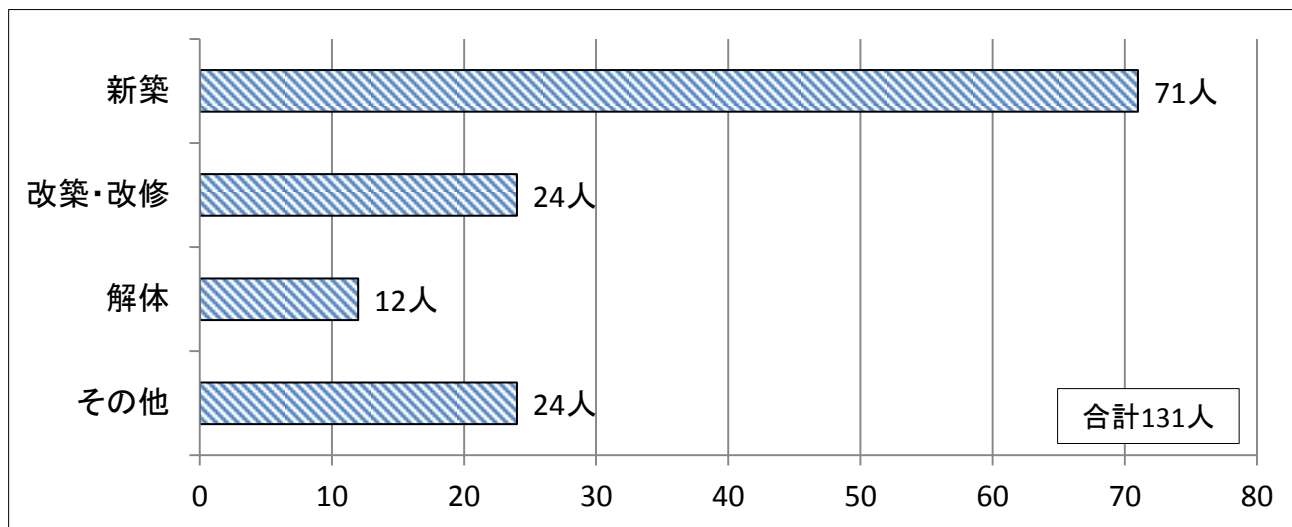


木造家屋建築工事の労働災害発生状況(25年1月～12月)

1. 工事別の災害発生状況

平成26年3月末現在(確定値)

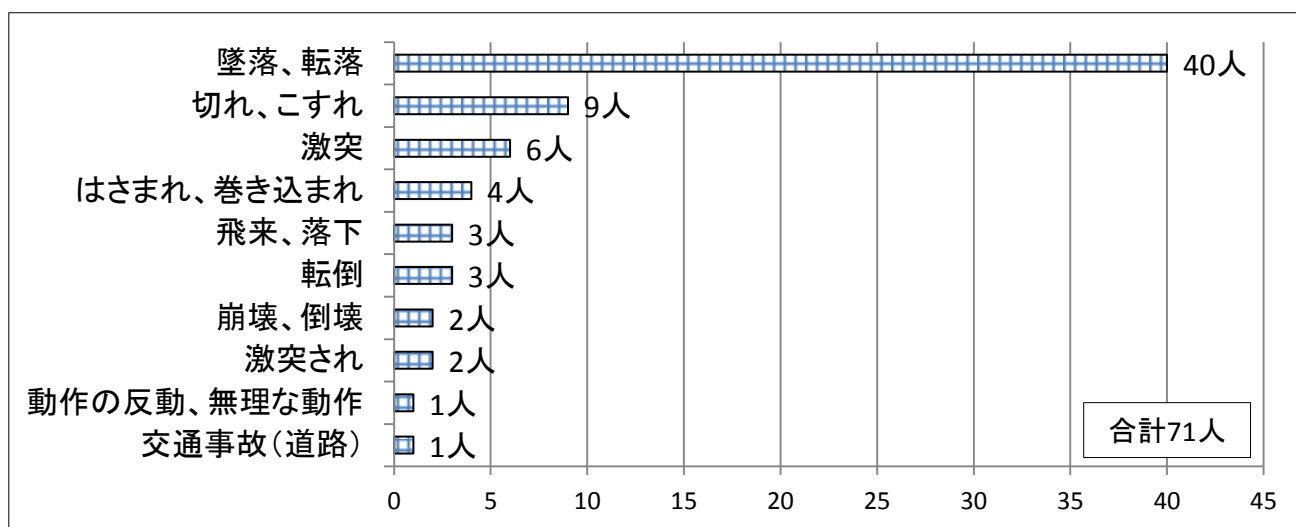


- ①木造家屋建築工事は、新築工事、改修・改築工事、解体工事に大別されます。
 - ②工事別では、新築工事での労働災害が最も多く、全体の半数(54.2%)を占めています。次いで、改修・改築工事(全体の18.3%)、解体工事(全体の9.2%)となっています。復興の本格化・住宅工事の着工増に伴い、今後、特に、新築工事で災害が増加することが懸念されます。
 - ③平成25年は、死亡災害が2件発生しています。新築工事において梁上から、また、改修・改築工事においてははしごから墜落したものです。
- ※「改修・改築工事」には、家屋の増改築のほか、屋根葺き替え、補修・塗装等の工事も含まれます。また、「その他の災害」には、現場への移動中の交通事故、自社敷地内での災害等で工事種別の区分ができないものが該当します。

2. 工事ごとの災害発生状況

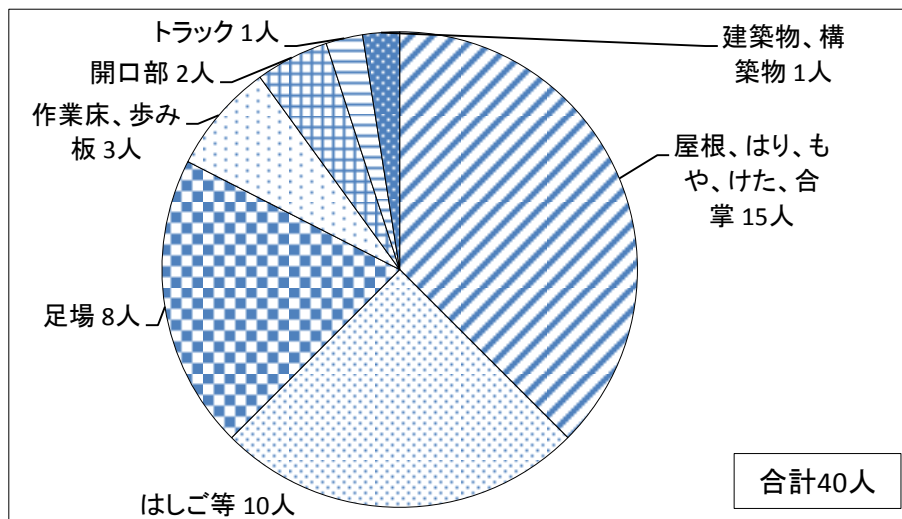
平成26年3月末現在(確定値)

(1)新築工事の災害発生状況



- ①墜落、転落災害が、全体の約57.1%を占めています。
- ②切れ、こすれ災害では、木材加工用の丸のこ盤によるものが6件、カッターナイフで手指を切ったものが2件発生しています。

新築工事の墜落・転落災害の状況



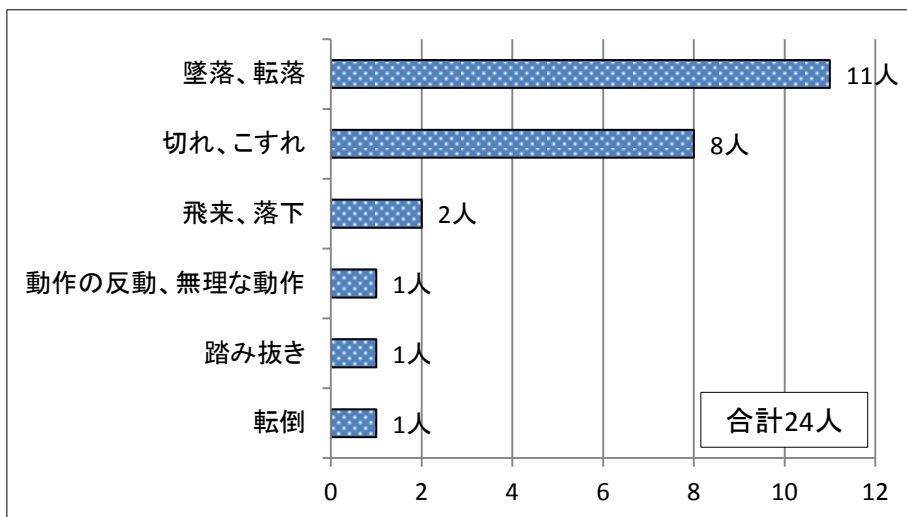
①墜落、転落災害は、いずれも防網、安全带等の墜落防止措置が講じられていなかったものです。

②屋根、はり、もや、けた、合掌によるもの15件のうち、12件が建方作業中に発生したものです。

③はしご等の10件は、すべて脚立から墜落したものです。

④足場の8件のうち5件は、足場と躯体の間から墜落したものです。

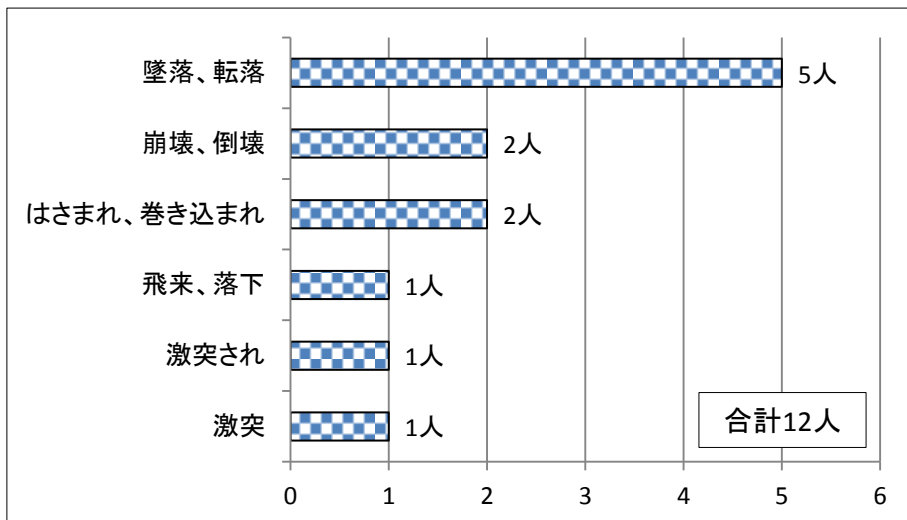
(2) 改修・改築工事の災害発生状況



①墜落、転落災害では、屋根から墜落したものが4件、はしご又は脚立から墜落したものが3件、足場から墜落したものが3件発生しています。

②切れ、こすれ災害では、丸のこ盤、帯のこ盤等の木材加工用機械によるものが4件発生しています。

(3) 解体工事の災害発生状況



①墜落、転落災害では、解体中建物の床を踏み抜いたものが2件、解体中建物の2階床開口部から墜落したものが1件、現場敷地内の開口部に足を取られたものが1件、可搬式作業台から墜落したものが1件発生しています。

②崩壊、倒壊災害では、解体した足場材の単管を積み重ねる作業中に単管が崩れたものが1件、飛来、落下災害では、解体した外壁が落下したものが1件、はさまれ、巻き込まれ災害では、解体用つかみ機(グラブ)でフレコンバッグを吊り上げる際、作業員の腕を挟んだものが1件、ダンプトラックに轢かれたものが1件発生しています。

3. 木造家屋建築工事の災害事例（同種災害が多く発生している事例等を例示）

事故の型	起因物	災害の概要
墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	建物の屋根上で、被災者が瓦を両手で抱え運んでいるとき、足を滑らせ屋根から墜落した。
墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	建物の梁上で建方作業を行っていた被災者が、足を踏み外しコンクリート土間に墜落した。
墜落、転落	はしご等	建物の2階で、被災者が脚立の上で天井板を貼り付けていたところ、誤って脚立から墜落した。
切れ、こすれ	丸のこ盤	被災者が可搬式の丸のこ盤を右手に持ち角材を切断中、切断した角材を受け止めるため、左手で角材をつかもうとしたとき、丸のこ盤の歯で左手首を切った。
激突	その他の仮設物、建築物、構築物等	被災者が会社敷地内で、残材の砂袋を片付けるため放り投げたところ、被災者の近くに積んであった鉄骨に顎をぶつけた。
墜落、転落	屋根、はり、もや、けた、合掌	被災者が屋根上で塗装作業中、塗装面に足を滑らせ、屋根から墜落した。
墜落、転落	はしご等	被災者が屋根を点検した後、はしごを降りる際、足を滑らせはしごから墜落した。
切れ、こすれ	丸のこ盤	被災者が可搬式の丸のこ盤で床板を切断していたところ、電源コードが材料に引っかかり、被災者が丸のこ盤を落とし、丸のこ盤の歯で太ももを切った。
墜落、転落	通路	アパートの解体工事において、被災者が搬出作業をしているとき、床材を踏み抜いた。
はさまれ、巻き込まれ	その他の建設用機械	車両系建設機械の解体用つかみ機でフレコンバッグをつかむ際、フレコンバッグを押さえていた被災者の腕ごととはさんだ。